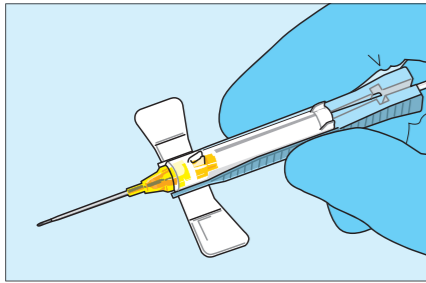


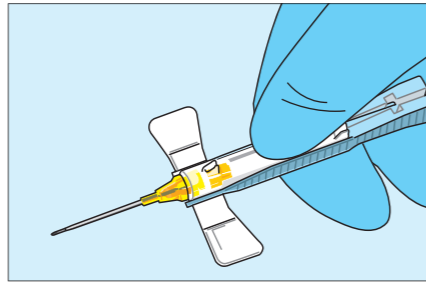
セーフウイングカスの操作方法

持ち方例

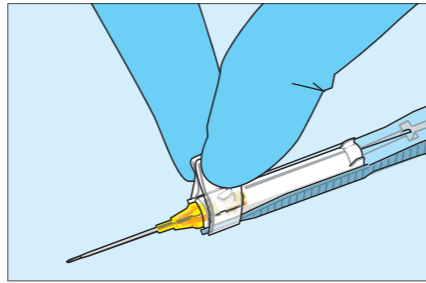
① 横持ち



② 上下持ち

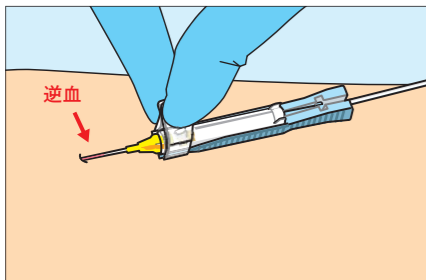


③ ウイング持ち



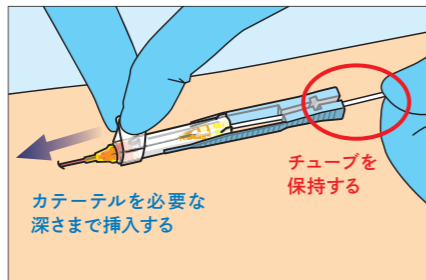
手順

① 穿刺



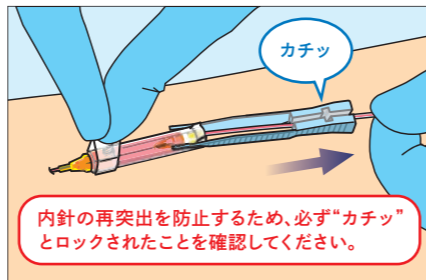
静脈走行に沿って穿刺し、逆血を確認します。

② カテーテル留置



チューブを“ゆっくり”本体の半分くらいまで引き、逆血が確認できたら、チューブを保持しカテーテルを血管内に押し進めます。

③ 内針収納



チューブを“カチッ”と音がするところまで後方に引くと、**内針がロック**されます。ストップを取り外し、廃棄します。点滴を開始し固定します。



規格一覧

品番	JANコード	型式/規格	ゲージ	針の長さ	プライミングボリューム (mL)	販売単位
JV-SWC2019	4987494068142	—	20G	3/4" (19mm)	0.70	50本/箱
JV-SWC2219	4987494068135		22G		0.71	
JV-SWC2419	4987494068128		24G		0.69	
JV-SWC2019NP	4987494248254	プラネクタ付	20G		0.83	
JV-SWC2219NP	4987494248261		22G		0.84	
JV-SWC2419NP	4987494248278		24G		0.82	
JV-SWC2019NPG	4987494248223	PNプラグ付	20G		0.79	
JV-SWC2219NPG	4987494248230		22G		0.80	
JV-SWC2419NPG	4987494248247		24G		0.78	

販売名:セーフウイングカス
医療機器認証番号:222AABZX00043000

セーフウイングカスの特徴



こちらよりセーフウイングカスに関する動画をご覧いただけます。



セーフウイングカス

Safewing cath

針刺し事故防止機構付き 静脈留置カテーテル



針刺しリスクを低減した機能デザイン

血管確保後、内針が分離されることなく本体に安全に収納できます。



①血管確保



②チューブを引く

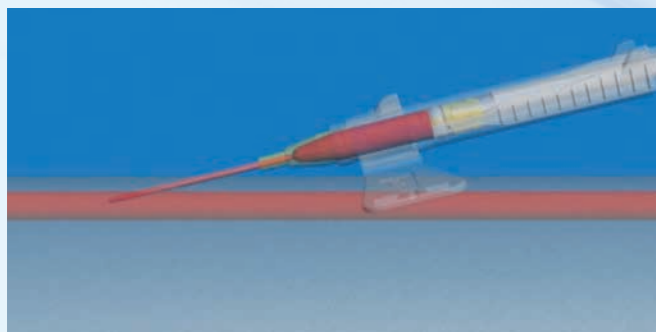


チューブを引いて、内針をボディ内に収納



清潔操作可能な設計デザイン

留置針(カテーテル)ハブに触れることなく、より清潔に挿入できます。



Safewing cath

血管確保デバイスに
求められる安全性を、
新しい発想で実現しました。

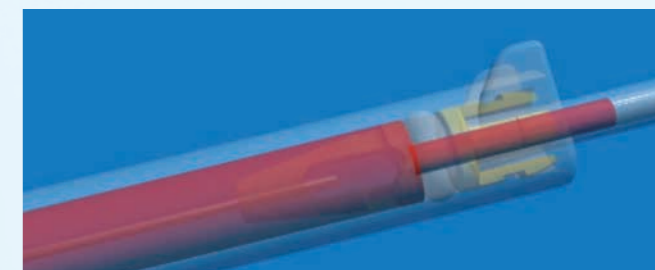
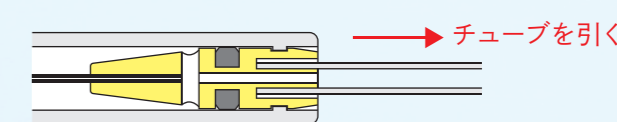
もっと、
やさしい
輸液治療へ。

製品概要



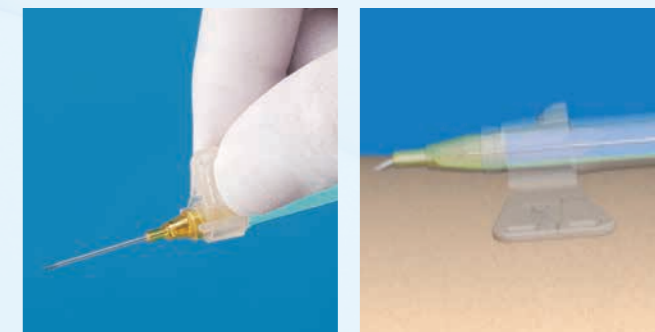
血液漏れを起こしにくい構造デザイン

輸液ラインを接続して穿刺することにより、閉鎖的な留置が可能になり、血液漏れを防止できます。



もっとらくに使える優しいデザイン

翼状針と同様にウイングを持って穿刺でき、設置面がフラットで皮膚に優しく固定できます。



プラネクタ® (ニードルレス&クローズド)付

セーフウイングキャス プラネクタ付



- 刺入部により近い位置でのワンショットや微量薬剤の投与に適しています。
- 輸液ラインの混注口を減らすことにより、シンプルなライン管理が可能です。

セーフウイングキャス PNプラグ付



- ヘパリン・生食ロック用ラインに適しています。
- 閉鎖的な管理が可能です。

Point 01

消毒しやすい形状

凹凸のないフラットでワイドな形状のためアクセス前の消毒を容易に行えます。(しっかりと2回消毒)

Point 02

ノーデッドスペース

輸液中における「薬液だまり」や「エアだまり」のできにくい構造により、輸液管理の様々なリスクを低減します。

金属針や専用のカニューラを必要とせず、ルーアタイプのシリンジでアクセスが可能です。(プラネクタの接続には、注射針を使用しないでください。)



持続注入を行う場合は、PNロック付輸液セット、PNロック付き延長チューブで接続を行ってください。



プレフィルドシリンジ、ロックシリンジでのアクセスは専用の「アクセスアダプタ」を接続して行ってください。

アクセスアダプタ



販売名: アクセスアダプタ
品番: JV-AANG
医療機器届出番号: 34B1X00001000071